

日々稽古にまい進し 関取を目指す

大相撲・時津風部屋入門

津志田 亜睦 さん

つしだ・あむ 19歳 川原目



平成11年生まれ。寺田小2年から相撲を始める。寺田道場、西根第一中相撲部、平館高相撲部、東日本実業団相撲1部の三研ソイル(株)相撲部を経て、大相撲時津風部屋へ本年5月に入門。パワーを生かした押し相撲が得意。身長181^{cm}、体重130^{kg}。

「人生は一度きり。将来の進路を考えたとき、大相撲の大舞台に挑戦してみたいと思いました」と相撲一筋の道を選んだ津志田亜睦さん。三研ソイル(株)(遠藤良貴社長)に入社後、5月から大相撲の時津風部屋に入門しました。

寺田小2年時から本格的に相撲を始め、遠藤社長が監督を務める寺田道場で腕を磨きました。白鵬杯小学6年生の部では全国第3位。西根第一中2年時に全国中学校体育大会で県勢初となる団体準優勝。そして、昨年の全国高校総体(インターハイ)個人戦で5位入賞を果たすなど、数々の全国大会で好成績を収めてきました。「試合に勝つと、地域の人が笑顔で祝福してくれました。それを励みにずっと相撲を続けてきました」と振り返ります。

遠藤社長が時津風部屋と親



平館高の主将として奮闘(29年8月5日、全国高等学校総合体育大会相撲競技大会、宮城県大崎市)

交がある縁で、今年1月に同部屋の稽古を見学。「寺田道場と同じ家族のような温かい雰囲気を感じた。今までよりも稽古は厳しくなるが、ここでさらに強くなりたい」と入門を決意しました。

5月13日初日の大相撲夏場所(東京・両国国技館)の前相撲で初土俵を踏む予定の津志田さんは「大相撲で一人前と認められる関取・十両をまずは目指したい。それまでは古里に帰らないつもりで稽古にまい進したい」と意気込みました。

編集後記

▽時津風部屋に入門した津志田さん取材したのは、平成28年の広報はちまんだい11月号(No.255)以来。取材の受け答えをきちんとこなす姿に成長を感じました。八幡平市出身力士は、昭和63年に初土俵を踏んだ琴岩鷲以来30年ぶり、8人目。皆さんで応援しましょう。(龍)



市長表敬訪問の際に時津風親方と握手する津志田さん



暑い日だったので、溶けそうな写真…ごめんなさい

▽アスピーテライン、樹海ラインの開通や桜の開花を見ていると、あの冬は何処へ。八幡平の春の訪れを感じます。4月22日には30℃を記録。あゝ暑いのも、何か冷たいもの食べたい!と涼を求めて、噂の新作ソフトクリームを早速食べてきました。サラタファームの味付けゆで卵「あじたま」味!塩っぱい味がして、確かにゆで卵を感じました。食べた皆さんはいかがでしたか? まだの人はぜひどうぞ。